

## 診断学から治療学へ ー 神経免疫研究が導く個別精密医療 ー



神戸大学大学院医学研究科  
医科学専攻 内科学講座  
脳神経内科学分野  
教授

千原 典夫氏

免疫機構は、人体に備わった恒常性維持機構であり、癌、感染症、炎症、変性など人体に起こる様々な障害に対してほぼ全てに関わっています。これまでには有効な治療薬がなかった難治性神経免疫疾患においても免疫病態を紐解くことで、複数の疾患修飾薬が登場しました。いま、脳神経内科では従来の神経診断学に加えて神経治療学が花開きつつあります。一方で、病勢や治療効果は個人差があり、一部の薬剤は非常に高額であることから医療経済的な観点を含めて個別精密医療の必要性も叫ばれています。私たちは神経科学の中で重要性を増す免疫学に対してヒト免疫学(human immunology)の視点から疾患研究に取り組んできました。本講演では神経免疫疾患研究を例に、神経疾患診療における個別精密医療の実際と展望について議論します。